発　　言　　通　　告　　書

令和　7 年　2 月 27 日

松山市議会議長　　原　　俊　司　　殿

松山市議会議員　　**河　本　英　樹**

次のとおり通告します。

発言順位	１２	受領日時	2 月　27 日　　午後　　2 時　50 分		1　枚中　1　枚目
質問等の方式	一問一答方式　・　一括方式			発言時間	約　35　分
答弁を求める者	・市長　・教育長　・選挙管理委員会委員長　・公平委員会委員長 ・農業委員会会長　・監査委員　・公営企業管理者				

No	件　　名	発　言　の　要　旨
1	**高齢者の介護について**	(1)介護現場の人員不足について、どのように認識し、どのような
		改善をすれば人員不足解消となると考えているのか。
		また、そのために若年層や未経験者を含めた方々に対し、どのよ
		うな取組をしているのか。
		さらに、今後どのような取組をしていく考えがあるのか。
		(2)市民が必要とする介護を受けることができる状況を整えるた
		めに、本市として、介護事業者にどのような支援が必要であると
		考えているのか。
2	**市民が安心して医療を受けるための**	(1)医療に関する市の相談窓口について
	取組について	(2)医療相談窓口の相談件数、相談内容及び対応について
		(3)医療機関での取組内容について
		(4)医療安全の向上のための市の具体的な取組内容について
3	**障がい者等、生きづらさを抱えてい**	(1)障がい福祉課と保健予防課の窓口を一元化したことによる効
	る方への支援や取組について	果及び今後の課題について
		(2)障がい者の法定雇用率を上げるためにも、本市独自での企業へ
		の支援や助成を行う考えはあるのか。
		また、今後どう向き合っていくべきと考えているのか。
		(3)解雇により職場を失ったり、就労場所が見つからないといった
		障がいを持った方への就労支援はどのようになっているのか。
		(4)障がい者等、生きづらさを抱えた方への支援として居場所を提
		供することの重要性をどのように考え、今後どのような支援や取
		組をしていくのかを問う。